

2014.6  
vol.  
52

大阪大学  
産業科学研究所

The Institute of  
Scientific and Industrial Research,  
Osaka University

## 75周年を迎えて 産研の新首脳陣は熱い!

- 新任教授紹介 大岩 顕(量子システム創成研究分野) 関谷 毅(先進電子デバイス研究分野)  
駒谷 和範(知識科学研究分野) 関野 徹(先端ハード材料研究分野)
- 動き出したCOI 海外派遣と阪大中之島センターでワークショップ
- 多くの来所者で盛り上がった「いちよう祭」
- 研究室一般公開・サイエンスカフェ
- 資生堂 女性研究者サイエンスグラント受賞 服部 梓 助教
- 26年度第1回(通算71回)産研テクノサロン
- 物質・デバイス領域共同研究拠点 第4回活動報告会
- From広報室 「試作工場」



# 創立75周年を迎え 産研首脳陣は熱い!

## 新メンバーの皆さんに

産業科学研究所は、東の理研に対抗して大阪を中心とする関西財界や有志の「産業に必要な自然科学の基礎と応用」に関する研究機関を大阪に設置したいという強い要望を背景として、大阪大学の前身である大阪帝国大学に昭和14年(1939年)設立され、本年11月に75周年を迎えます。

設立時の目的は「自然科学に関する特殊事項で産業に必要なものの基礎的学理及びその応用の研究」でした。以来、国内でも有数の理工学総合研究所として発展し、電子工学、情報科学、金属及び無機材料科学、有機化学、生物科学、高分子科学、放射線科学などの分野に広範囲に研究を進め、日本の産業の発展に寄与したことは言うまでもありません。

しかし、目覚ましい発展を遂げてきた我が国近代産業も大きな転機を迎え、変化に対応した研究を進めるためには、従来の学問領域にとらわれない複合的、学際的あるいは、新しい研究分野の開拓が強く望まれました。そのため、当研究所は、平成7年(1995年)幅広い分野の研究者を擁し、研究目的を「産業に必要となる先進的な事項で、材料、情報及び生体に関するものの総合研究」としました。

そして、今日まで「材料」「情報」「生体」の3領域の研究を進めています。新たにこの3領域に加え、ナノテクノロジー・ナノサイエンス分野の研究を推進する総合理工学研究所として歩んでいます。

特にナノサイエンスでは、全国の国立大学に先駆けて産業科学ナノテクノロジーセンターを設立し、我が国におけるナノサイエンス研究の先導的役割を果たし続けています。また、北大電子研・東北大多元研・東工大資源研・阪大産研・九大先端研の5大学附置研による全国縦断型「物質・デバイス領域ネットワーク拠点」を形成し、その拠点本部として我が国では前例のない、新しい効率的な共同研究システムを構築いたしました。

さらに、その成果を産業に生かすためにインダストリーオープンキャンパスを実現するインキュベーション棟を完成させ、企業リサーチパークが稼働しています。平成23年度には、世界最大のナノテック研究機関imecと産研との間で共同研究契約が締結され、両機関の若手研究者の受け入れや派遣を活発に行っています。

## 2014年度の産研は

今年度は、大岩 顕 教授(量子システム創成研究分野)、関谷 毅 教授(先進電子デバイス研究分野)、駒谷 和範 教授(知識科学研究分野)、関野 徹 教授(先端ハード材料研究分野)の4名が新任教授として着任頂き新しい研究分野にも積極的に取り組んでいます。

また、昨年、文部科学省の大型プロジェクト革新的インキュベーション創出事業プログラムCOI(Center of Innovation)に産研から提案した「人間力活性化によるスーパー日本人の育成と産業競争力増進/豊かな社会の構築」が190件の応募の中から採択されました。パナソニックの上ノ山 雄フェローがプロジェクトリーダー、産業科学研究所の松本 和彦教授がチームリーダーとして22社の企業も参画し9年間の予定で活動するビッグプロジェクトが今年からいよいよ動き出しました。このCOI研究推進機構を当研究所インキュベーション棟4階に設置し、すでに海外調査団の派遣や大阪大学中之島センターでのワークショップが始まり国内外で大いに注目されています。

昨年より大阪大学の部局では唯一の定例(毎月)記者会見を大阪大学中之島センターで開催致しております。多数のマスコミが取材に訪れて頂き、マスコミへの露出回数(昨年度:新聞掲載220件、TVラジオ16件)も増え、学会や研究機関だけでなく、産研の存在を広く社会にアピールしています。

## 熱くなり熱く語れる場を

大学における基礎研究も、社会の要請を的確に把握し、国民の期待に応える科学の創出が求められています。産研は、産業に生かす「出口を見据えた基礎研究の推進」をスローガンとして産業界との連携を強化する施策を立てていきたいと考えております。産研は、歴史と伝統を背景に新しい時代をリードすべく、今後も環境・エネルギー・医療・安全安心に関する課題を解決することを中心に、独自性の高い世界最先端の基礎科学技術創出の努力を続けて参ります。もちろんこれは、560名を超える産研大学院生・教職員の努力の集積で初めて実現するものです。私たち首脳陣は、産研メンバーが熱くなり、熱く語れる場を熱い気持ちを持って提供いたします。もちろん提供するだけでなく皆さんのリクエストにも応え、決して留まることなくチャレンジを続け、75周年を熱い気持ちで共に迎えたいと思います。

## 75周年を迎えての記念事業

- 11月7日 ……産研テクノサロンスペシャル 企業を対象に千里ライフサイエンスセミナーでのセミナー
- 11月27日 ……産研公開 メディア対象(記者会見)
- 11月28~29日 ……産研公開 研究者・一般対象
- 11月28日 ……記念式典 千里阪急ホテルにて 特別公演として伊賀健一(元東工大学長)、山元 賢治(株)コムカ代表取締役(元アップル日本法人社長)

- 11月29日 ……一般公開の学術講演会スペシャル
- 12月10~12日 ……グランフロント大阪にて国際シンポジウムスペシャル 研究者対象(一般公開)

その他、アライアンス技術シンポジウム、記念出版、産研画廊開設等の事業を計画



写真は左より 小口教授(所長補佐) 永井教授(副所長) 沼尾教授(副所長) 八木教授・所長 古澤教授(副所長) 吉田教授(副所長) 田中教授(所長補佐) 三田事務部長



# 新任教授 講演会

今年度は4名の新任教授が着任され、5月13日と22日に新任教授講演会が開かれました。  
新スタッフ・新研究分野で産研に新風を巻き起こしてくれるでしょう！



## 大岩 顕

第一研究部門  
量子システム創成研究分野

### 略歴

慶応義塾大学理工学部物理学科  
東京大学大学院理学系研究科物理学専攻(修士・博士)  
神奈川科学技術アカデミー常勤研究員  
東京工業大学研究機関研究員  
科学技術機構さきがけ技術研究員  
東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻講師

講演タイトル:

光や超電導との融合がもたらす量子伝導の新しい展開

量子ドットなど低次元系個体量子素子と異種材料や異種物理系を融合させて新しい量子状態や制御性を引き出す研究が可能となりつつあります。講演では、量子ドットにおける光とスピンの単一量子間の転写や超伝導体との接合から、1次元細線/超伝導接合のマヨナラ粒子など多彩な現象を紹介されました。

### 着任コメント

4月1日付けで第一部門 量子システム創成研究分野の教授に着任いたしました大岩 顕と申します。産業科学研究所のすばらしい環境の中でこれから研究ができることに日々期待が膨らんでおります。夢は量子デバイスと量子輸送の世界的な研究グループを産研に作ることです。初めの大阪暮らしで不慣れなことが多い毎日ですが、産研所長杯フットサル大会で学生さんと汗を流すのが目下の楽しみです。今後とも宜しくお願致します。



## 関谷 毅

第一研究部門  
先進電子デバイス研究分野

### 略歴

大阪大学基礎工学部物性物理工学科  
東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻(修士・博士)

講演タイトル:

有機超分子技術を用いたフレキシブルエレクトロニクス・フォトリソグラフィーの基礎科学と実社会への応用

新しいエレクトロニクスの潮流として日々発展を続ける分子性電子材料を用いたフレキシブル有機エレクトロニクス・フォトリソグラフィーの基礎工学の応用を紹介いたします。関谷教授がこれまで取り組んできた軌道放射光を用いた有機超分子解析技術と制御技術から、阪大病院と取り組んでいる医療・福祉応用まで、広範な学際的共同研究による「ものづくり」について講演されました。

### 着任コメント

研究所の周辺に咲いている満開の桜が本当に綺麗で、環境が本当に丁寧に整備されていることに驚きました。綺麗な研究所にやってきたんだ、と感激しながら毎日を過ごす中で、早くも2ヶ月が過ぎてしまいました。研究所の先生方、事務の方々、研究所の皆様には本当にいつも丁寧にご対応いただき、いつも助けていただいておりますこと、この場を借りて心から御礼を申し上げます。がんばって一刻も早く研究室を立ち上げなければ、という気持ちでいっぱいですが、そうしているうちに次の桜の季節がやってきそうです。



## 駒谷 和範

第一研究部門  
知識科学研究分野

### 略歴

京都大学大学院情報学研究科知能情報学専攻(修士・博士)  
京都大学大学院情報研究科 助手  
京都大学大学院情報研究科 助教  
名古屋大学大学院工学研究科 准教授  
ホンダ・リサーチ・インスティテュート・ジャパン 客員研究員(兼務)  
JST さきがけ「情報環境と人」領域研究者(兼務)

講演タイトル:

人間と音声を用いて対話するロボットの実現を目指して

近年、人型ロボットの運動能力や外観は、かなり人間に近づきつつあります。このようなロボットと音声で対話したいという期待は高まっていますが、まだ、人間のように賢く話せるロボットは実現できていません。ここでの問題のひとつに、正確な音声認識結果を得るのが難しいことがあり、誤った音声認識結果が入力されることを前提としたシステム設計が必要です。講演ではスマートフォン上の音声アプリケーション(Siriなど)と比較しながら、ロボットとの音声対話の難しさを説明され、続いて音声認識誤りに対しても頑健に動作する音声対話システムに関する研究成果を紹介し、人間と対話できるロボットの実現に向けた課題について議論されました。

### 着任コメント

平成26年4月1日付けで第一研究部門・知識科学研究分野に着任致しました。溝口理一郎先生の後任で、情報系の研究分野の一翼を担います。専門は音声対話システムで、音声認識技術を用いて、人間と話ができる賢いロボットやコンピュータの実現を目指しています。産研では様々な優れた研究が行われていますので、そこから何かを学び取り、刺激を受けながら、研究を進めたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。



## 関野 徹

第二研究部門  
先端ハード材料研究分野

### 略歴

東北大学大学院工学研究科材料化学専攻  
大阪大学産業科学研究所准教授  
東北大学多元物質科学研究所准教授

講演タイトル:

次元構造制御に基づく機能共生型材料の創成

これまでの材料には特定の機能が求められていましたが、今日の様々な社会問題を鑑みると、今後は単材料で優れた複数機能を担保できる材料が必要となります。こうした観点に基づき、通常の単機能型材料に結晶レベル、微細組織、更にはバルク構造や異方構造など、多階層におよぶ次元構造制御・複合化手法を適用することで、従来とは異なる積算型機能を有する機能融合・共生型材料が創出できます。講演ではこれら材料の設計概念、プロセス、構造および機能について、多機能性セラミックス複合材料や酸化物ナノチューブ材料などを例に概説し、環境・エネルギー・医療福祉分野なども見据えた次世代型社会基盤材料としての応用に向けた研究の紹介をされました。

### 着任コメント

4月1日付けで先端ハード材料研究分野に着任致しました。セラミックスやナノ材料、更には多機能型複合材料の研究を専門としています。今後は一つの材料で複数機能が共生し、次世代の社会基盤となり得る材料、例えば周囲の熱や光を高効率に回収できる構造用部材のような「機能性構造材料」の創成を行います。このために新しい切り口からの基礎的研究に加え、応用・実用化をも視野に入れた研究を展開します。どうぞ宜しくお願致します。

## imec(ベルギー)、ホルストセンター(オランダ)へ 共同研究調査団を派遣

COI共同研究調査団は、サテライトの金沢大学と共に、2014年1月27日、28日の両日、ベルギーのimecとオランダのホルストセンターへ共同研究内容の打ち合わせに訪問しました。27日訪問のimecでは、ウェアラブルセンサーの概要説明と共同研究の打ち合わせ、クリーンルーム及びバイオ研究の見学。28日訪問のホルストセンターでは、EEG(脳波)センサー、ECG(心拍)センサー、腕時計型動作モニター等のデモと今後の連携を議論しました。大阪大学COIからはパナソニックの上野山COIプロジェクトリーダー、松本COI研究リーダー、沼尾教授、小倉COI企画推進室長、金沢大学からは三邊教授、菊町特任准教授、国立精神・神経医療研究センターの高橋室長に参加いただきました。



## 第1回大阪大学COIワークショップ開催



大阪大学COIの第1回ワークショップを「脳とサイエンスの融合」というタイトルで3月14日(金)に大阪大学中之島センターで開催し、115名の参加がありました。

上野山COIプロジェクトリーダーから開会の挨拶後、小倉COI企画推進室長の司会のもと、日立製作所の小泉フェローからは

- 1) イノベーションは逆問題を解く様なもので、解は無数にあるがその中から本物を見いだす必要がある
- 2) 異分野を融合する研究では各分野の人が理解できる共通の言葉が必要である

3) 人間力を活性化するには、意識下の潜在意識を活用するのが一つの方法であるなど大変含蓄の深い内容のご講演をいただきました。

脳情報通信融合研究センター (CiNet)の春野研究員からは、人間の性格をMRIで予測できる事が分かりつつある内容の講演があり、金沢大学の三邊教授は、発達障害の子どもは、特異な能力が備わっているが、人間関係構築が苦手なため、社会が周辺環境を改善し、その能力を伸ばす必要を力説されました。

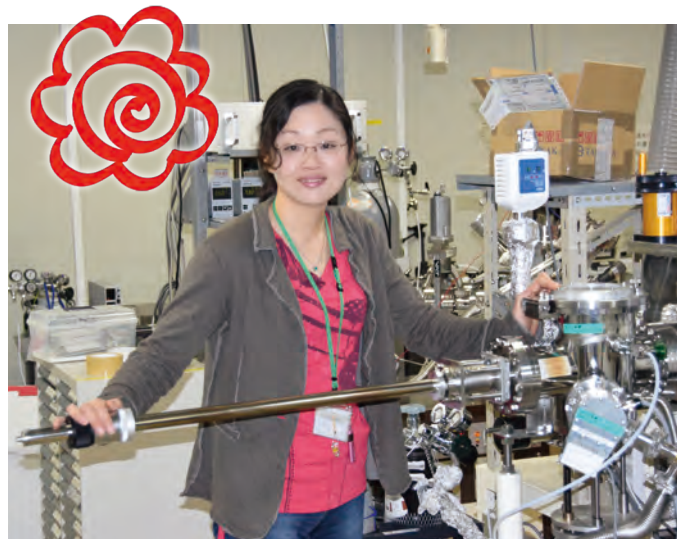
日立製作所の矢野主管研究長は、ビジネス顕微鏡を用いたデータ処理と組織の活性化について実例を交えて紹介され、ダイキンの樋江井氏は深睡眠システムについて講演いただき、REM、NonREM睡眠を脳波と心拍、体動によりモニターし、最適な温度、湿度に設定する事により、深睡眠のNon REM睡眠が増加する事を示し、より深い眠りが得られる事を実証されました。

パナソニックアドバイザーの山下氏は、マイクロ流路によりDNAの抽出、選択、特異性の検出が可能である自動流路を開発され、今後のセンサー開発につながる講演でした。最後に大阪大学COI研究リーダーの松本教授が本ワークショップを総括して終了し、引き続き閃電エルグアデンで開催された交流会にも62名の参加があり活発な意見交換と親睦が図られました。

## 服部 梓助教が「第7回 資生堂女性研究者サイエンスグラント」を受賞

服部 梓助教(ナノ機能材料デバイス研究分野)が、2014年資生堂女性研究者サイエンスグラント受賞者(全国の指導的女性研究者トップ10)として選ばれました。この賞は、年齢制限を設けず、研究分野も「自然科学全般」ということで200件を超える応募の中から、物性物理学の分野で大変優秀な研究活動が評価され、将来性が期待できる10名の1人として選出されたものです。産研から初受賞で(大阪大学からは二人目)、受賞研究テーマは、「強相関金属酸化物3次元配列ナノ構造体でのフォトクロミック機能の創出」です。

受賞後、服部助教は「後期博士課程在学中に二人の子供を産んだため、私の研究はいつも子育てと並行しています。時間的なハンディがあるため、自信を喪失したこともありましたが、研究は楽しいし、家族はいいとおいしい。色々な経験をするからこそ、イノベーションを創出できると信じて突き進んできました。今回の受賞は、私の研究者としての生き方を評価してもらえたようで、大きな励みになりました。今後も気持ちを強く持って頑張っていこうと思います」と話されています。産研の女性研究者の皆様、次はあなたの番です。







## 第4回活動報告会

大阪大学産業科学研究所を中核拠点とし、北海道大学電子科学研究所、東北大学多元物質科学研究所、東京工業大学資源化学研究所、九州大学先端物質化学研究所の5研究所で構築される「物質・デバイス領域共同研究拠点(ネットワーク型)」の第4回活動報告会が、4月25日に仙台(ホテルメトロポリタン)で開催されました。

東北大学多元物質科学研究所長・河村純一教授のご挨拶、拠点本部長である大阪大学産業科学研究所・八木康史所長の拠点活動概要報告に続いて、ナノシステム科学研究領域部会(北大電子研)、物質創製開発研究領域部会(東北大多元研)、物質組織化学研究領域部会(東工大資源研)、ナノサイエンス・デバイス研究領域部会(阪大産研)、物質機能化学研究領域部会(九大先端研)の各研究領域部会から口頭発表・ポスター発表が行われました。

また、産業科学研究所のサテライト会場からも遠隔会議システムを利用して2件の口頭発表が行われました。



## 第71回(平成26年度第1回)産研テクノサロン

「産業科学の新たな展開—安全・安心を支える—」をテーマに、今年度第1回目の会合が5月9日(金)開催されました。講演では、最初に、八木康史所長から産研の現状と、「未来科学捜査」歩容鑑定を中心とする情報技術について紹介されました。続いて(株)竹中工務店の山中一克様から「エネルギーハーベスティングによるセンサーネットワーク」について、(株)日本環境認証機構の佐藤吉信様から「機能安全の考え方と規格への適合」について講演が行われました。さらに、産研の福井健一助教から「センサーネットワークの活用」について、三進金属工業(株)の森脇健夫様から「安全・安心な実験室の構築」についての講演の後、それぞれに関係する沼尾研究室(知能アーキテクチャ研究分野)および生体防御学研究分野実験室の見学が行われました。最後に、楠本会館に場所を移し親睦交流会が開催されました。

新緑の好天に恵まれ、多くの方にご参加いただき、様々な分野の方々との情報や意見の交換が活発に行われ、産学交流が進められました。



## TVや新聞で取り上げられる産研定例記者会見

2013年7月から産研では、毎月定例で記者会見を行っています。5月20日に行われた第11回定例記者会見で、八木所長発表の「高速顔画像検索システム—劣化画像から1000万枚/秒で同一人物を検索—」には複数のTVの取材もあり、当日夕方のニュース(3番組)、新聞9紙で紹介されました。





# 2014いちょう祭

## 5月2日～3日

「いちょう祭」とは大阪大学の創立記念日(5月1日)を祝し、かつ、全学をあげて新入生の皆さんを歓迎するとともに学生・教職員・地域の方との親睦を図る行事です。産研では、科学を広く知ってもらおうと「研究室一般公開」という姿勢で臨んでおり、今年も多くの参加者を迎え科学を感じて頂きました。

### 研究室及び施設の一般公開

今年は13もの研究室及び施設に、一般公開へエントリーして頂きました。二日間で247名の来所者があり、人気の試作工場コーナーでは140名もの希望者があり、整理券を発行するほどでした。また、各研究室を3コースに分けて見学するツアーも2日間で合計90名の参加で盛況でした。まさに老若男女が産研の研究に触れた1日でした。



### サイエンスカフェ

4名の学生スピーカーが自分たちの研究を一般の方に分かり易く説明し、理解してもらう「サイエンスカフェ」が51名の聴取者の中、開催されました。普段の研究を一般の方に説明するのは正直かなり難問です。それにチャレンジしたのは、岸 鉄馬(笹井研 機能物質化学研究分野・M2)テーマ「薬と毒とは鏡一重?」～分子と握手しよう～、大江康子(竹内研・量子情報フォニクス研究分野・M1)テーマ「量子情報分野への応用に向けた光制御に関する研究」、米山 徹(加藤研 医薬品化学研究分野・D2)テーマ「不治の病ががんは治せる?～分子を使って、たんぱく質間相互作用を制御し生体内現象を操る～」、石橋 祐輔(松本研・半導体量子科学研究分野・M1)テ

マ「グラフェンの驚異的特性とデバイス応用」の4名です。鋭い(厳しい)質問も受けながら懸命の発表で、終了時には一般の皆さんから大いなる拍手を頂きました。

発表を終えた学生スピーカーは、優しく説明する難しさを実感しましたが、とても良い経験になったと話されました。次回はあなたがエントリーしてください!



### 産研を知って交流を深めた新人オリエンテーション

「とにかく研究施設では、隣は何をする人ぞ!」となりがちです。そこで、産研では教職員・学生も含めて、各研究分野・施設の説明会と懇親会を含めた新人オリエンテーションを年度初めの「いちょう祭」時に開催しています。説明会では各研究分野や施設のレクチャーがあり、各研究室見学は開催中の「いちょう祭」研究室見学ツアーに参加し、研究をレクチャーだけでなく体感する

ことが出来ました。

また、夕方から開催された懇親会では「自分の所属以外の人と会話しよう」という命題が与えられ、皆さん楽しく命題をクリアし産研のメンバーになれたのでした。説明会には46名、懇親会には59名の参加があり、大いに盛り上がった一日でした。



From

# 広報室



## 研究を成功に導くための強き味方

# 試作工場

試作工場は、産研に設置されている研究サポート施設で、技術室より派遣されたスタッフによって運営されています。研究を実験にて証明することが求められる中、研究者が求める結果を導くために、適切な実験器具を製作してくれます。実際には、ワンオフでガラスと金属の実験装置や器具を形にしてくれるのが試作室です。その加工技術は、まさに職人技です。プロフェッショナルである産研に設置された、さらにプロフェッショナルな集団といえます。

### 試作工場の特徴と活用法

まず、試作工場に器具の製作を発注するには、所内webの<http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/ws/>で申し込み、仕様書や設計図を持って訪ねていけば製作してもらえます。ただし、完全な設計図がなくても対応してくれます。試作室にはノウハウを持った専門スタッフがいるので、何を求めているのかを相談すれば、ラフ案でも形にしてくれるのです。

また、実際に器具の装着時に不具合が起こっても迅速に対応してくれます。もちろん費用は発生しますが、外部発注に比べるとコストパフォーマンスは優れています。しかし、現場では、コストより、そのノウハウを生かした物作りと迅速な対応、特に修正が必要な場合などでは、外部発注とは比べるまでもなく魅力的です。こんな特徴を持つ試作室を産研研究者の皆様、ぜひ活用ください。



## エントリーリスト 今からエントリーできる講習会やセミナー等のお知らせ

内容	対象	開催日時	場所	定員	締切日	申込み方法
中級者NMR講習会	全学	6月25・26・27日 (水・木・金) 10:00~16:00	総合解析センター 106号室	6	6月21日	総合解析センター利用 webシステムから
ICP説明会(中級)	全学	6月26・27日(木・金) 10:00~16:00	総合解析センター 301号室	5	申し込み等はリノベーションセンターから <a href="http://www.reno.osaka-u.ac.jp/">http://www.reno.osaka-u.ac.jp/</a>	
産研フェスタ	一般	7月18日(金) 17:30~	産研講堂			入場料(ビール・おつまみ付) 一般前売り800円当日1,000円、 学生・女性前売り500円当日800円
ものづくり教室2014	小4 ~ 小6	8月5・6・7日 (火・水・木) 10:00~16:30		1日 18名	7月1日よりwebで受付。定員超過の場合は抽選で (参加費・傷害保険料100円) <a href="http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/tew/main/keiji2014/">http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/labs/tew/main/keiji2014/</a>	
薄膜X線解析説明会① 面外・面内測定	全学	10月7・8日(火・水) 10:00~16:00	総合解析センター 203号室	7	開催日前日	総合解析センター利用 webシステムから
DART-MS講習会	全学	10月8・9日(水・木) 10:00~13:00	総合解析センター 303号室	5	開催日前日	総合解析センター利用 webシステムから
初心者NMR講習会	全学	10月9・10日(木・金)	総合解析センター 103号室	5	10月6日	総合解析センター利用 webシステムから
薄膜X線解析説明会② 反射率測定	全学	10月9日(木) 10:00~16:00	総合解析センター 203号室	7	開催日前日	総合解析センター利用 webシステムから
薄膜X線解析説明会③ 極点測定	全学	10月10日(金) 10:00~16:00	総合解析センター 203号室	7	開催日前日	総合解析センター利用 webシステムから
MALDI-MS講習会	産研	10月15・16日(水・木) 10:00~13:00	総合解析センター 304号室	5	開催日前日	総合解析センター利用 webシステムから
粉末X線回折説明会	全学	10月16日(木) 10:00~16:00	総合解析センター 203号室	7	開催日前日	総合解析センター利用 webシステムから
SEM測定講習会 (初級)	産研	10月15・17日(水・金) 10:00~15:00	総合解析センター 102号室	5	10月9日	総合解析センター利用 webシステムから



総合解析センター利用者は「利用の手引き」を熟読しておいてください(小冊子及びwebで)



## 受賞一覧 (平成26年2月1日～平成26年6月1日)

八木 康史	ポスター賞	第17回産研国際シンポジウム2014
向川 康博	ポスター賞	第17回産研国際シンポジウム2014
Md. Abdul Mannan	ポスター賞	第17回産研国際シンポジウム2014
田川聖一	ポスター賞	第17回産研国際シンポジウム2014
山崎 聖司	第4回日本学術振興会育志賞	日本学術振興会
古賀 聖司	エレクトロニクス実装学会 研究奨励賞	エレクトロニクス実装学会
古崎 晃司	Linked Open Dataチャレンジ2013アプリケーション部門 優秀賞	LODチャレンジ実行委員会
古崎 晃司	オープンデータ流通推進コンソーシアム・総務省オープンデータ・アプリコンテスト技術賞	オープンデータ流通推進コンソーシアム
野澤 一太	日本原子力学会加速器・ビーム科学部会優秀講演賞	日本原子力学会
八木 康史	IAPR Best Paper Award	2nd International Workshop on Biometrics and Forensics(IWBF2014)
横原 靖	IAPR Best Paper Award	2nd International Workshop on Biometrics and Forensics(IWBF2014)
村松 大吾	IAPR Best Paper Award	2nd International Workshop on Biometrics and Forensics(IWBF2014)
T.V.A Nguyen	Best Presentation Award	The 4th International Symposium on Terahertz Nanosceie (TeraNano4)
山崎 聖司	第87回日本細菌学会総会 優秀発表賞	日本細菌学会
藤川 麻由	日本化学会第94春季年会学生講演賞	公益財団法人 日本化学学会
川合 知二	第61回応用物理学会春季大会2014論文賞	公益財団法人 応用物理学会
柳田 剛	第61回応用物理学会春季大会2014ポスター賞	公益財団法人 応用物理学会
長島 一樹	第61回応用物理学会春季大会2014ポスター賞	公益財団法人 応用物理学会
八木 康史	科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞	文部科学省
横原 靖	科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞	文部科学省
八木 康史	科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 研究部門	文部科学省
横原 靖	科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 研究部門	文部科学省
菅沼 克昭	学会賞	一般社団法人エレクトロニクス実装学会

## 新任教職員一覧 (平成26年2月1日～平成26年6月1日)

平成26年2月3日 招へい 外国人研究員 (客員教授)(産業科学ナノテクノロジーセンター) RALESCU Anca Luminita			
平成26年3月1日			
採用 特任技術職員(先端実装材料)	横井 絵美		
採用 特任研究員(知的財産)	頼 萍(Lai Ping)		
採用 特任研究員(知的財産)	川上 里美		
採用 事務補佐員(第2プロジェクト(極微材料プロセス))	藤原 綾子		
採用 事務補佐員(第2プロジェクト(極微材料プロセス))	塚田 恵子		
平成26年4月1日			
採用 教授(量子システム創成)	大岩 顕(東京大学大学院工学系研究科 講師から)		
採用 教授(先進電子デバイス)	関谷 毅(東京大学大学院工学系研究科 准教授から)		
採用 教授(知識科学)	駒谷 和範(名古屋大学大学院工学研究科 准教授から)		
採用 教授(先端ハード材料)	関野 徹(東北大学多元物質科学研究所 准教授から)		
採用 助教(知能推論)	杉山 慶人		
採用 助教(生体分子機能科学)	中野 雅裕(生体分子機能科学 特任助教(常勤)から)		
採用 助教(ナノ構造・機能評価)	麻生 亮太郎		
採用 特任技術職員(半導体材料・プロセス)	黒崎 千香(半導体材料・プロセス 特任事務職員から)		
昇任 研究連携課長	山崎 純子(研究推進部研究推進課課長補佐から)		
昇任 研究協力係主任	神田 幸代(研究協力係員から)		
配置換 総務係長	黒杭 裕(薬学研究科庶務係長から)		
採用 特任准教授(常勤)(生体分子機能科学)	和沢 鉄一		
採用 特任助教(常勤)(生体分子機能科学)	岩野 恵		
採用 特任研究員(常勤)(量子システム創成)	山本 治樹		
採用 特任研究員(常勤)(複合知能メディア)	田川 聖一		
所属換 特任教授(常勤)(バイオナノテクノロジー)	川合 知二(所長特任研究室から)		
所属換 特任助教(常勤)(バイオナノテクノロジー)	大城 敬人(所長特任研究室から)		
所属換 特任研究員(常勤)(バイオナノテクノロジー)	HE Yuhui(所長特任研究室から)		
採用 特任教授(新産業創造システム)	金出 武雄		
採用 特任研究員(複合知能メディア)	廖 若辰(LIAO Ruochen)		
採用 特任研究員(機能物質化学)	平田 修一		
採用 特任研究員(機能物質化学)	樊 露露(FAN Lulu)		
採用 特任研究員(ソフトナノマテリアル)	CHATTERJEE Shreyam		
	(ソフトナノマテリアル 特任研究員(常勤)から)		
採用 特任研究員(先端実装材料)	朴 世垠(PARK Semin)		
		平成26年4月1日	
		採用 特任研究員(先端実装材料)	吳 哲旻(OH Chul Min)
		採用 特任研究員(先端実装材料)	張 昊(ZHANG Hao)
		採用 特任研究員(助起物性科学)	石橋 武(技術室 技術補佐員から)
		採用 特任研究員(バイオナノテクノロジー)	保手浜 千絵(所長特任研究室 特任研究員(常勤)から)
		採用 特任研究員(バイオナノテクノロジー)	村山 さなえ(所長特任研究室 特任研究員(常勤)から)
		採用 特任研究員(バイオナノテクノロジー)	山田 里絵(所長特任研究室 特任研究員(常勤)から)
		採用 特任研究員(バイオナノテクノロジー)	小和田 弘枝(所長特任研究室 特任技術専門職員から)
		採用 特任研究員(ナノテクノロジー設備供用拠点)	近田 和美(所長特任研究室 特任研究員(常勤)から)
		採用 技術補佐員(先端実装材料)	柳生 瞳
		採用 技術補佐員(先端実装材料)	廣瀬 由紀子
		採用 技術補佐員(機能物質化学)	土井 貴裕
		採用 技術補佐員	
		(第2プロジェクト(セルロースナノファイバー材料))	謝 明君(HSIEH Ming-chun)
		採用 事務補佐員(精密制御化学)	銘田 美知
		採用 事務補佐員(研究連携課契約係)	沼田 尚子
		採用 事務補佐員(図書室)	高田 香都子
		所属換 特任研究員(バイオナノテクノロジー)	金井 真樹(所長特任研究室から)
		招へい 外国人研究員(客員教授)	
		(産業科学ナノテクノロジーセンター)	何 鵬(HE Peng)
		平成26年5月1日	
		採用 助教(助起分子化学)	小阪田 泰子
		採用 特任研究員(先端実装材料)	村松 哲郎
		採用 特任研究員(先端実装材料)	藤澤 直毅
		招へい 外国人研究員(産業科学ナノテクノロジーセンター)	ARENAS Daniel Jose
		平成26年5月16日	
		採用 技術補佐員(知能推論)	浅野 有紀
		採用 事務補佐員(知識科学)	本園 千鶴子
		平成26年6月1日	
		昇任 准教授(複合知能メディア)	横原 靖(複合知能メディア 助教から)
		昇任 准教授(半導体材料・プロセス)	松本 健俊(半導体材料・プロセス 助教から)
		採用 特任教授(先端実装材料)	村松 哲郎(先端実装材料 特任研究員から)
		採用 特任研究員(先端ハード材料)	西田 尚敬
		採用 特任研究員(先端実装材料)	金 永錫(KIM Young Seok)
		採用 事務補佐員(総務課総務係)	下江 美英

## 離任教職員一覧 (平成26年2月1日～平成26年6月1日)

平成26年2月28日			
退職 特任准教授(常勤)(複合知能メディア)	王 君秋 (WANG Junqiu)		
退職 事務補佐員(所長特任研究室)	石飛 祐子		
任期満了 外国人研究員(客員教授)			
(産業科学ナノテクノロジーセンター)	SUZER Sefik		
平成26年3月10日			
退職 特任教授(半導体材料・プロセス)	佐賀 達男		
退職 特任教授(半導体材料・プロセス)	高森 晃		
平成26年3月31日			
退職 准教授(半導体材料・プロセス)	高橋 昌男		
退職 助教(量子システム創成)	周 逸凱(ZHOU Yikai)		
退職 助教(助起分子化学)	立川 貴士		
退職 特任事務職員(企画室)	西田 彩		
退職 特任研究員(常勤)(複合知能メディア)	NGO Thanh Trung		
退職 特任研究員(常勤)(知能推論)	兼村 厚範		
退職 特任研究員(常勤)(精密制御化学)	VERMA Rajiv Kumar		
退職 特任研究員(常勤)(生体分子機能科学)	TIWARI Dharmendra Kumar		
退職 特任研究員(常勤)(所長特任研究室)	川瀬 朋代		
退職 特任研究員(常勤)			
(第2プロジェクト(セルロースナノファイバー材料))	NGE Thi Thi		
退職 特任研究員(半導体材料・プロセス)	鈴木 宣彦		
退職 特任研究員(所長特任研究室)	RAHONG Sakon		
退職 特任研究員			
(第2プロジェクト(セルロースナノファイバー材料))	謝 明君(HSIEH Ming-chun)		
退職 特任研究員(ナノ機能材料デバイス)	岡田 浩一		
退職 特任研究員(客員教授)(ナノ極限アプリケーション)	小方 厚		
		平成26年3月31日	
		退職 特任研究員(ナノ極限アプリケーション)	仲西 琢巳
		退職 技術補佐員(複合知能メディア)	松本 佳子
		退職 技術補佐員(先端実装材料)	加賀美 宗子
		退職 事務補佐員(生体情報制御学)	松岡 澄彦
		退職 事務補佐員(ナノテクノロジーセンター)	古林 美絵
		退職 事務補佐員(研究連携課契約係)	寺田 久美子
		平成26年4月1日	
		配置換 研究連携課長(不正使用防止計画推進室長)	西河 博美
		配置換 総務係長(総務企画部経営企画課企画調整係長)	山口 澄章
		平成26年4月15日	
		退職 事務補佐員(精密制御化学)	矢口 百合子
		平成26年4月30日	
		退職 特任研究員(知的財産)	川上 里美
		退職 特任研究員(バイオナノテクノロジー)	保手浜 千絵
		退職 特任研究員(バイオナノテクノロジー)	山田 里絵
		退職 特任研究員(バイオナノテクノロジー)	小和田 弘枝
		退職 技術補佐員	
		(第2プロジェクト(セルロースナノファイバー材料))	金井 いづみ
		任期満了 外国人研究員(客員教授)	
		(産業科学ナノテクノロジーセンター)	RALESCU Anca Luminita
		平成26年5月15日	
		退職 特任研究員(機能物質化学)	樊 露露(FAN Lulu)
		平成26年5月31日	
		退職 事務補佐員(総務課総務係)	花嶋 潤子

### 編集後記

ニュースレターをお読みいただきありがとうございました。今号より表紙と記事のデザインを一新して、産研75周年の節目を迎えるにふさわしい読みやすい誌面づくりに努力させて頂きました。今後も本ニュースレターを通して産研の活動状況を研究所内外へ発信し続けていきたいと思っておりますので、変わらぬ愛読の程よろしくお願いたします。ご多忙なか、公募記事の御執筆を引き受けて下さいました皆様にも厚く御礼申し上げます。(松田 知己・樋口 雄介)

## 産研ニュースレター 2014.6 第52号

発行：大阪大学 産業科学研究所 編集：産研広報室  
〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘8-1 TEL&FAX:06-6879-8524  
URL: http://www.sanken.osaka-u.ac.jp/ E-mail: kouhou@sanken.osaka-u.ac.jp